

## 年初に思うこと

●基幹労連・事務局長

ご安全に

基幹労連の挨拶は「ご安全に」、これは働く仲間の安全を思いやる気持ちと自らの誓いでもあります。2026年が皆様にとって安全で穏やかな実り多き年となりますことをご祈念申し上げます。

### ～ 取り巻く環境 ～

世界経済は、米国の通商政策や地政学的リスクの高まりなど不安定な状況が続いており、先行きの不透明感が高まっています。

日本経済については、米国の通商政策による影響で7－9月期のGDP（改定値）は年2.3%減と速報値から下方修正され、6四半期ぶりにマイナスとなりました。また、GDPの半分以上占める個人消費は、物価上昇局面が続くなか消費マインドの下振れが懸念されており、実質賃金の維持・向上は社会的な課題となっています。

こうした状況のなか、いよいよ春闘（基幹労連では「春季取り組み」）が始まります。

### ～ A P 26春季取り組み ～

#### 「笑顔あふれる成果の獲得！」

基幹労連は、2年を一つのパッケージとして取り組みを進めており、A P 25春季取り組みは、年間一時金、格差改善を中心に取り組む「個別改善年度」として取り組みました。賃金改善については統一の要求額を掲げるとともに、加えて業種別組合については、格差改善（月例賃金）として目安額を設定し取り組みました。

結果、基幹労連全体で統一要求額を掲げ取

り組んだことが、相乗効果を発揮し、継続した賃金改善と全体の底上げにつながったと評価しています。とりわけ、格差改善（月例賃金）については、総合（大手）組合と同額や、格差改善分を含め総合組合を上回る業種別組合もあり、大手追従・大手準拠の構造転換をはかる大きな一歩となったと受け止めています。

こうしたなか、迎えるA P 26春季取り組みは、労働条件全般の改善に取り組む「総合改善年度」として取り組むこととなります。

その上で、賃金改善については、急激に変動している国際情勢に加え、国内の経済状況、物価や企業動向を見通すことが困難として、2026年度のみの要求とし検討を進めています。

労働力人口が減少するなか、全産業において人材不足となっており、人材獲得競争は熾烈を極めています。高技能・長期能力蓄積型産業である基幹産業にとって、将来にわたる優秀な人材の確保と定着は、産業・企業の発展と現場力の維持・強化の観点から重要な課題です。基幹産業で働く者が希望と誇りをもって「働きたい・働きたい」と思ってもらうためにも、基幹産業にふさわしい労働環境や労働条件の構築が不可欠であります。

取り組みの基本は、「魅力ある労働条件づくり」と「産業・企業の競争力強化」の好循環の創造、加えて、日本経済の好循環を実現するためには、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配や適切な価格転嫁、働く者全ての労働条件の底上げ、「人への投資」に継続して取り組むことが不可欠です。



A P 26春季取り組みの成功に向け、相乗効果が発揮できるよう、基幹労連加盟組合全体が連携を密にした取り組みを展開していきます。

#### ～ 政策実現に向けて ～

私たちの基本理念は「魅力ある労働条件づくり」と「産業・企業の競争力強化」の好循環の創造です。日本経済の屋台骨であるものづくり産業の発展が日本経済の発展につながるの思いをもって、基幹労連政策の実現に向けた取り組みを進めています。産業政策と政策・制度の課題は、労使の枠組みを超えた課題でもあることから、政治のプロセスを通じた課題解決が不可欠であり、産業別労働組合に求められる重要な活動の一つです。

引き続き、組織内議員「村田きょうこ」参議院議員と昨年7月の参議院議員選挙で当選を果たした「郡山りょう」参議院議員をはじめ、ものづくり産業の重要性和私たちの求める政策について理解いただいている国会議員の方々と連携し、大臣要請や関係省庁の実務担当者との意見交換等に取り組んでまいります。

#### ～ 結びに ～

上記、労働政策や基幹労連政策づくりは、各種調査により組合員の現状やニーズ等を把握することが重要です。基幹労連は、労働調査協議会（労調協）と力を合わせて、多くの調査を実施しています。調査結果から見える傾向を分析し、組合活動に役立てています。そして、基幹労連の調査のみならず上部

団体の調査等もあり、業務多忙のなか、ご協力いただく加盟組合や組合員の皆さんに感謝していますし、高い回収率にも感謝しています。

現在、経済・社会情勢は大きく変化しており、これまで以上に調査の重要性が増してきていると感じています。引き続き、労調協と力を合わせて、各種調査を実施し組合活動に活かしていきたいと思います。

そして、私たちの運動・取り組みの中心は「人」であり、基軸は働く仲間の安全と健康です。基幹労連における昨年の死亡災害発生は10件で10人（12/12現在）もの尊い仲間の命を失っています。

産別だから出来ること、産別としてやらなければならないことを地道に愚直に取り組んでまいります。加盟組合・構成組織・単組・支部、そして一人ひとりの安全衛生の取り組みや意識の向上も重要です。「ご安全に」の声掛けの実践で、愚直に仲間同士のより多くの目・力を借りて職場を守っていただきたいと思います。

「組合員とその家族の幸せ追求」、安全で健康で誰一人かけることのない生活がその第一歩です。これからも厳しい時代、先の見通せない状況が続くかもしれませんが、加盟組合の皆さんの思いに応え、そしてお役に立てるように精進し、「頼れる産別・誇れる産別」にしていければと思います。

毎年、年初に思う「今年こそは死亡災害を絶対に出さない」共に頑張りましょう。

ご安全に